

# 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	誰もが安全で快適な交通環境づくり					
(2)	総合計画の体系	第 6 章	安全で魅力的なまちづくり				
		第 2 節	暮らしや都市活動を支える基盤づくり				
		第 30 細節	誰もが安全で快適な交通環境づくり				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		146,240	157,704	167,223	
		従事職員数		8.00 人	8.25 人	6.50 人	
		所要人件費(B)		63,577	68,904	53,105	
		総事業費(A+B)		209,817	226,608	220,328	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	63,697	51,637	49,096
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	146,120			174,971	171,232		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	放置自転車等の撤去台数	目標値 (単位:台)	31,753.00	31,753.00	31,753.00
		実績値 (単位:台)	10,661.00	12,656.00	
目標値の積算方法	過去最高年間撤去台数31,753台(平成12年度)を基準に「放置台数0=達成度100%」を目標とする。	達成度(%)	33.6	39.9	
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		達成度(%)	0.0	0.0	

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

「誰もが安全で快適な交通環境づくり」の推進のため市域全体を見据え、警察との連携をはじめ、市民、企業、大学、生徒などへの教育・啓蒙や開発指導、その他の施策と連動した総合的な施策の展開が必要である。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	総合的自転車対策事業(交通対策費)	総務交通室	00701	全部	大	18	18	16	18	10	80	継続
2	交通バリアフリー推進事業	総務交通室	01099	なし	大	18	14	14	20	14	80	継続
3	交通事故をなくす運動事業	総務交通室	01101	全部	大	20	16	14	20	20	90	継続
4	交通バリアフリー化整備補助事業	総務交通室	01100	全部	大	18	18	20	20	16	92	拡充
5	迷惑駐車対策事業	総務交通室	01096	全部	大	14	16	18	20	16	84	継続
6	鉄道施設等耐震補強補助事業	総務交通室	01102	全部	大	18	14	16	20	18	86	継続
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		道路を不法占用する自転車等を撤去し、交通バリアフリーを推進する。										